

閣議及び閣僚懇談会議事録

開催日時：平成30年10月2日（火）

11：34～11：47

開催場所：総理大臣官邸閣議室

出席者：安倍晋三 内閣総理大臣

麻生太郎 国務大臣（副総理，財務大臣，内閣府特命担当大臣）

野田聖子 国務大臣（総務大臣，内閣府特命担当大臣）

上川陽子 国務大臣（法務大臣）

河野太郎 国務大臣（外務大臣）

林芳正 国務大臣（文部科学大臣）

加藤勝信 国務大臣（厚生労働大臣，内閣府特命担当大臣）

齋藤健 国務大臣（農林水産大臣）

世耕弘成 国務大臣（経済産業大臣，内閣府特命担当大臣）

石井啓一 国務大臣（国土交通大臣）

中川雅治 国務大臣（環境大臣，内閣府特命担当大臣）

小野寺五典 国務大臣（防衛大臣）

菅義偉 国務大臣（内閣官房長官）

吉野正芳 国務大臣（復興大臣）

小此木八郎 国務大臣（国家公安委員会委員長，内閣府特命担当大臣）

福井照 国務大臣（内閣府特命担当大臣）

松山政司 国務大臣（内閣府特命担当大臣）

茂木敏充 国務大臣（内閣府特命担当大臣）

梶山弘志 国務大臣（内閣府特命担当大臣）

鈴木俊一 国務大臣

陪席者：西村康稔 内閣官房副長官

野上浩太郎 内閣官房副長官

杉田和博 内閣官房副長官

横畠裕介 内閣法制局長官

閣議案件：別添案件表のとおり。

○人事 1件

○配布 1件

いずれも，案件表のとおり，決定等となった。

議事内容：

○菅国務大臣：ただ今から、閣議を開催いたします。

まず、閣議案件について、西村副長官から御説明申し上げます。

○西村内閣官房副長官：人事案件について、申し上げます。徳永徹外129名の叙位又は叙勲について、御決定をお願いいたします。

○菅国務大臣：次に、大臣発言がございます。まず、文部科学大臣。

○林国務大臣：本年のノーベル生理学・医学賞を、本庶佑氏が受賞されることとなりました。

今回の受賞は、日本人研究者が高い研究水準を有することを改めて世界に示すものであるとともに、国民にとって大きな誇りと励みになるものです。

文部科学省としては、今後とも、先端的、独創的で多様な研究の推進に努め、科学技術イノベーションを通じた、社会・文化の発展に貢献してまいります。

○菅国務大臣：次に、松山大臣。

○松山国務大臣：本年のノーベル生理学・医学賞の受賞について御報告いたします。かつて総合科学技術会議議員を務められた京都大学の本庶佑特別教授が、「免疫抑制阻害によるがん治療の発見」という優れた業績によりノーベル生理学・医学賞を受賞されることとなりました。受賞された本庶特別教授には、心からの敬意と祝意を表します。

世界的にも認められる優秀な研究者の輩出は、後に続く者にとっての目標となるだけでなく、日本の基礎研究の水準の高さを世界に示すものであり、我が国にとっても大きな励みとなるものです。

○菅国務大臣：次に、内閣総理大臣から御発言がございます。

○安倍内閣総理大臣：本日、内閣を改造することとしました。

皆さんと共に、生産性革命、人づくり革命、働き方改革など、我が国の未来を切り拓くため、大胆に挑戦し、数々の成果を上げることができました。皆さんのこれまでの御尽力に対して、心から、感謝申し上げる次第です。

これまで懸命に改革に取り組んできた仲間として、引き続き、それぞれの立場で、国民の負託に応えるべく、安倍内閣の更なる挑戦に力強い御支援を頂ければ幸いです。本当に御苦勞様でした。ありがとうございました。

○菅国務大臣：それでは、お手元の辞表に署名をお願いいたします。署名された辞表は、そのままにしておいてください。

なお、お手元に「公文花押集」をお返ししておりますので、現在使用中の花押を御記入願います。

これをもちまして、閣議を終了いたします。

引き続き、閣僚懇談会を開催いたします。なお、海外出張された茂木大臣及び加藤大臣の帰朝報告は、お手元の資料のとおりです。

御発言はございますか。

無いようですので、以上をもちまして、閣僚懇談会を終了いたします。

閣 議 案 件

〔 平成30年
10月2日 〕 (火)

◎ 人 事

資 料 あり ☆ 元厚生技官徳永 徹外 1 2 9 名の叙位又は叙勲に
あ ついて (決定)

◎ 配 布

☆ 沖縄県知事選挙結果調 (総務省)

[○ 署名あり ☆ 署名なし]